



# ち★ネット!

「顔の見える地域連携」を目指した多職種での情報交換と学びの会  
それが、地域医療ネットワークの会です!

## 平成20年9月2日 第4回 地域医療ネットワークの会

### 「ハンディキャップを持つ子ども達の療養を考える」



18施設 60名の参加がありました

地域開業小児科医・訪問看護ステーション看護師・リハビリ担当者、保健福祉センター保健師・障害者支援担当者、児童相談所相談員、重症心身障害児施設看護師、在宅診療の医師、マリアンナからは、小児科・小児外科・脳外科の医師、病棟看護師、外来看護師など、子ども達の療養に関わる様々な機関と職種の方々が集まりました。



4名の先生方より、子ども達の医療と療養の問題、地域で生活する子ども達や介護者のサポートについてお話を聞きました。

聖マリアンナ医科大学病院小児科

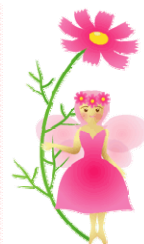
山本仁医師・神山紀子医師

都筑区のとさえだ小児科クリニック

時枝啓介先生

青葉区メディカルセンター訪問看護ステーション

松木満里子所長



#### —参加者全体でのディスカッションでは—

退院時の母親をサポートするシステムの更なる強化が必要。制度上、普通学級で訪問看護サービスを受けることができずに困っている多くの子ども達がいる。子どもに愛着が持てずに悩んでいる母親がいる。介護にあたる家族が、ホッと一息つけるレスパイトサービスの利用が重要であることなど多くの意見がでました。

参加者全員が、多職種で協同してこれらの問題解決に臨まなくてはならないと認識を新たにしました。今回の企画が今後のネットワークの礎になることを期待します。



ち★ネットロゴ完成記念として、参加者の皆様にち★ネットチョコを配りました